



留学生と語り合う No.97

RKKニュース (2024年 秋号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

「留学生 50 人の声」プロジェクト

2005年に「留学生 70 人の声」の冊子を発行し国際交流を推進致しました。その後の 20 年間に、国際交流・留学生支援の環境は大きく変化し、特に、コロナ禍を経て、留学生数の減少、市民の国際交流への関心の薄れが目立って来ました。留学生のニーズも変わってきており、支援のあり方を再考する時期となっております。

本年は RKK 創立 25 周年であり、その記念事業として、「留学生 50 人の声」プロジェクトがスタート致しました。この機会に、多くの留学生からの声を聞き、冊子を発行し、市民への配布と交流座談会により、国際理解を深めてもらうことが趣旨です。

事業実施により期待される効果は：

- ・ 留学生の実態・ニーズを把握することにより、有効的な留学生支援活動ができる。
- ・ 市民の方々が留学生への関心を高め、国際交流活動の第一歩を踏み出すきっかけとなる。
- ・ 登録留学生・日本人会員が、投稿・原稿集め、編集、発行、配布活動を推進することで、ボランティア活動の楽しさとやりがいを体得することができる。

7 月から、地区交流会スタッフをはじめ、日本人会員のご協力で、60 人以上の留学生から寄稿の承諾をいただき、現在、冊子の編集をすすめている最中です。11 月～12 月に冊子の製本と配架、配布を予定しております。

今後とも、引き続き、ご支援・ご協力の程、よろしく申し上げます。

(「留学生 50 人の声」プロジェクトチーム)

"Voices of 50 International Students" Project

In 2005, we published the booklet "Voices of 70 International Students" to promote international exchange. In the 20 years since then, the environment for international exchange and support for international students has changed significantly. The COVID-19 pandemic has further impacted this, leading to a decrease in international students and waning interest in international exchange among citizens.

To address the evolving needs of international students, we have launched the "Voices of 50 International Students" project as part of our 25th-anniversary commemoration. This project aims to listen to the voices of many international students, publish booklets, distribute them to citizens, and hold an exchange discussion meeting to deepen global understanding.

Expected effects of the project include:

- ・ Effective support activities for international students based on their actual situation and needs.
- ・ Increased interest in international students among citizens and opportunities for them to engage in international exchange activities.
- ・ Opportunities for registered international students and Japanese members to experience the rewarding aspects of volunteer work through manuscript submission, editing, publishing, and distribution.

Since July, with the cooperation of the district exchange association staff and Japanese members, more than 60 international students have agreed to contribute to the project. We are currently editing the booklets and plan to bind, shelve, and distribute them between November and December of this year.

We look forward to your continued support and cooperation.

(The Voices of 50 International Students Project Team)

RKK フェスティバル 2024

開催日：11 月 23 日 (土、祝日)
場所：かながわ県民センター 301 号室

プログラム

10:00-12:00 日本語スピーチ大会
12:30-16:30 文化祭

- ・ 最終ページをご覧ください。
- ・ 右のコードをスキャンすると詳しい案内があります。



Please Visit RKK Festival 2024

Date: November 23rd (Saturday, Holiday)
Place: Kanagawa Kenmin Center R301

Program

10:00-12:00 Japanese Speech Presentation
12:30-16:30 Culture Exchange

- ・ Please see the page 10 and find a chance to know Japanese culture and international countries.
- ・ Please scan the left code for more detail.

理事長に就任して

RKK 理事長 萩原 敦

このたび、理事長に就任させていただきました萩原です。まずは、長い間、理事長として RKK の発展に貢献されました深水さんに感謝申し上げます。

2007 年に RKK に入会し、早いもので、10 数年が過ぎてしまいましたが、その間、大変貴重な経験そして喜びを味わうことができました。RKK の目的は、留学生が日本で留学を終えたときに「日本に来てよかった」と回想してもらえるように留学生を支援することです。支援する会員は、「出来る範囲で、楽しく、そしてやってよかったと思える」ボランティア活動を行うことが望めます。また、支援・交流を通じて、「3つの絆」（会員同士、会員と留学生、留学生同士）を深めることも大切です。この絆作りには、「Give and Take」、「Call and Response」の関係維持がポイントのようにも思えます。



長年、事務室スタッフとして、みなさんのご支援・ご協力をいただきながら、RKK の活動の推進に参画させていただきました。今回、代表責任者のお役目を担うことになりましたが、マネジメントだけでなく、実務も推進するプレイングマネージャーとしてお役に立てればと存じます。

この秋は、25 周年記念プロジェクト「留学生 50 人の声」そして RKK フェスティバル（日本語スピーチ大会、文化祭）があります。みんなで協力して盛り上げていきましょう。

留学生からの便り

日本での留学生生活を振り返って

元横浜国立大学大学院 唐 銘徽（中国）

これらの二年間、日本での留学生生活が無事に終わりました。私は法学の知識を学びながら、論文の執筆を行いました。論文に苦勞しました。論文を完成する過程で、RKK の先生には論文の修正で助けられました。その過程で得た知識やスキルは、今後のキャリアや人生にとって大きな財産になると感じています。困難であっても、毎日少しずつ成長を実感できるのは、留学生活ならではの経験だと思います。

勉強以外に、神奈川県での生活は非常に心地よく、特にその自然環境には癒されました。港の景色や鎌倉の海が織りなす美しい景色は、勉強の合間に心をリフレッシュさせる大切な存在でした。また、日本の人々はとても親切で、学校の友達や先生など色々な人の温かさにはいつも助けられました。日常生活の中で、さりげない親切や支えを感じる瞬間が多く、日本の社会の優しさに触れることができました。

さらに、日本文化の奥深さにも感銘を受けました。日本の伝統文化や季節の行事、美しい建築物など、日々新しい発見があり、異国での生活に彩りを与えてくれました。私にとって日本は、学問だけでなく文化的な面でも非常に新鮮な場所でした。

留学中に神奈川や東京以外にも、北海道、関西、静岡、山形などに旅行する機会がありました。それぞれの地域で異なる文化や風景に触れ、日本の多様性を感じることができました。特に札幌の雪の景色や大阪の賑やかな街並み、静岡の海、そして山形の美しい田園風景は印象深い思い出です。

日本での生活を通して、幸せを感じるとともに、多くの学びや人とのつながりを得ることができました。勉強は確かに大変でしたが、振り返ってみると、それ以上に充実した時間だったと感じています。今後も、この留学で得た経験を活かして、新たな道を切り開いていきたいと考えています。

活動グループ紹介

日本語支援グループ

私の日本語支援



東地区 野川 博之
御縁あって昨年11月以来、中国天津市出身の郝桂想（ハオ・グイシャン）さんに対し、日本語の学習支援を行っております。郝（ハオ）さんは去年（2023）9月来日して以降、横浜デザイン学院でとても熱心に日本語を学習中です。デザイン学院で日本語を学んでいると伺って、初めは正直なところ、少なからず驚かされました。ただ、近年では、大学の日本語別科やいわゆる日本語学校のほかにも日本語教育の場が広がりつつあるということをRKKの先輩の皆様からも交流会の場で詳しくうかがい、彼との御縁を通じ、そのことをいよいよ実感しつつあります。毎週日曜日の午後、鶴屋町のかながわ県民センター九階にあるボランティアサロンでお会いするやいなや、郝さんはリュックから学校で使っている教科書2、3冊を取り出し、また、びっしりと書き込まれたノートをも取り出して、いろいろ疑問点をお尋ねになります。われわれ日本語を母国語とする者にとっては、平素深く考えたこともない、互いに類義の助詞・助動詞・副詞・形容詞の間の細かな違いについてのお尋ねが多く、それを私がすでに錆のつき始めた中国語でどうにかお答えする、というありさまです。お役に立っていればよいが、せめて間違いがなければよいが、といつもドキドキしながらお答えしている、というのが正直なところであります。

私はかつて台湾に15年間住まい（2002～2017年）、そのうちの10年間は日本語教師として過ごしましたが、日本語を教えるための専門的な教育を受けたわけではなく、とりわけ文法関連のことは、いわゆる学校文法とは用語や考え方を異にしているので、これを学び、かつ教えるのはすこぶる困難でした。日本へ引き揚げて7年を経過し、ようやく落ち着いて、現在の日本語教育についても学ぶようになり、その成果を、こうして郝さんや、彼以降御縁のできる留学生さんのために活かせればと念じております。

私の日本語支援



西地区 下村 のり子
私は夫が2001年頃にRKKに加入したときに一緒に加入したので来年でもう25年位になります。これまでに、中国、韓国、台湾、ウズベキスタン、アメリカ、スロバキア、パキスタンなど、各国から来られた人達に対し、日本語の指導をしてきました。現在は、チュニジア、バングラデシュからの留学生を教えています。私の日本語支援のベースラインは「日本を好きになって、母国に帰ってからも日本最良でいて欲しいこと」でした。しかし、今までの支援で私はこのベースラインを守れたことがありません。どういう訳か、善人のお面を被った私個人に好意をいだいて下さる生徒ばかりで、必ずしも日本や日本人に好意を持ってくれている人はいないようなのです。去る東日本大震災の時に、私は何本もの国際電話を元生徒から貰いました。大変嬉しく思いましたが、彼らは異口同音に「先生だけなら助けてあげる」と言うのです。えっ！私だけ？なんで？…… 私は、私の日本語支援のベースラインが果たしきれていないことに気付いたのです。なぜ私だけなの？と反問すると、「先生の授業は楽しかったから」との答え。それ以来、私は生徒に向き合う姿勢をどのようにしていったら良いのか、迷い続けています。どなたか、良い思案がありましたらお教えくださいませ。

私の日本語支援

南地区 永作 重夫



私が RKK に入ったのは、2017 年 10 月です。RKK の日本語講座に参加して、留学生への支援をしようと思ったからです。今までに 9 人の留学生と勉強を共にしてきました。初めての留学生はインド人で、JICA から派遣されたため、日本語会話が全くできない状態でした。

教本『元気』を使って対応しました。ある程度会話ができるようになると、やる気を失ってしまい、休講状態が続き、結局は

終了しました。大学院の講義が英語で行われるとのことで初級レベルの日本語会話ができてところで終わってしまいました。その後、日本の会社に就職しましたが、英語での専門業務ができる会社を選びました。留学生の目標とする日本語の会話レベルによって、支援の形も変わります。中国人留学生には 4 名対応しましたが、N1、N2 レベルの方々でしたので、論文のレビュー、オノマトペの紹介、日本人らしい日常会話、就活のエントリーシートの書き方、オンラインでの面接対応などに取り組みました。各留学生の課題は新鮮で、自分自身の勉強にもなりました。少し変わった対応は、英会話を教えてほしいという要望があり、NHK のラジオ英会話を一緒に行いました。皆さん、大学院を無事に卒業し、日本で就職した方または帰国した方ですが、懐かしいですね。元気に暮らしていることを願います。日本に在留している方とは連絡が取れますが、帰国した方は残念ながら音信不通になってしまっています。

現在は、アフガニスタンから来られている BOMAN ALI さんと一緒に勉強しています。昨年 10 月から YNU の日本語講座に参加しており、バックアップ支援をしています。今年の 7 月には JLPT N4 を受験する予定で、Youtube を活用して漢字、文法、語彙、聴解の学習を週ごとに進めていました。無事合格されました。

次は、N3 とのことで、12 月の試験に備えるべく、夏休みから目標を立てて、演習を一緒に進めていく予定です。コロナ禍の 3 年間で、9 人のうち 3 人には会うことができませんでした。全てがオンラインでの対応でした。機会があれば、ぜひお会いしたいと思います。今後も留学生との関わりを通じて、何か役に立てればと考えています。

社会見学グループ

Japan between the technology and ancient culture

Lucy Mariel Lopez Quiroga (Bolivia)
Yokohama National University

During the summer, the voluntary RKK group organized a technical, cultural and historical journey that offered a perfect blend of practical knowledge and cultural exploration. The trip began at the Waterworks Memorial Museum, which oversees the water distribution for Yokohama city. The museum highlights the origins of the water supply, sourced from lakes around Mount Fuji, which feed into the Sagami River—providing clean and drinkable water for Kanagawa Prefecture.

The Kanagawa Water and Energy Services play a crucial role in ensuring the reliable distribution of water to the region's inhabitants, all this effort is shown at the Waterworks Memorial Museum which is recognized as one of the 100 Best Modern Waterworks and is designated as a Civil

Engineering Heritage site, showcasing a century of water system advancements.

The museum features accessible areas for children and individuals with disabilities, making it a family-friendly destination where visitors can enjoy picnics and spend an entire day immersed in history and nature.

To complete this amazing journey we went to see the historical and cultural event in Samukawa Shrine where we can see flowing horse an ancient ceremony from 794 d.c. called Yabusame. This ancient event correspond to Shinto religion where the samurais went to shrine looking for protection

and asked to Gods fortune, peace and prosperity. Through the years the activity keep all rituals and characteristics, it was a travel on the history.

To conclude this amazing journey, we visited the historic Samukawa Shrine to witness a captivating cultural event: Yabusame, an ancient equestrian ceremony dating back to 794 year. This traditional event is rooted in Shinto beliefs, where samurai would visit the shrine seeking protection and asking the gods for fortune, peace, and prosperity.

Over the years, Yabusame has preserved its rituals and characteristics, providing a fascinating glimpse into Japan's rich history. Attending this ceremony felt like a journey through time, immersing us in the vibrant traditions of the past.

第81回 社会見学G コメント



今回は会員と一般の方で計15人と5か国5人の留学生の方が参加されました。留学生の出身国の多様化が実感されます。当日は暑い中で野外の時間が長かったのですが、曇り空のために助けられました。途中いくつかのハプニングでスタッフが手分けして対応する事もありましたが、大きなトラブルもなく、無事にツアーを催行する事ができました。会員皆さまと留学生の皆さまのご協力に感謝致します。寒川神社での流鏝馬はTVニュースにも取り上げられ、会員や留学生のインタビューが放映されるというおまけもつきました。

鈴木 隆

外国語学習グループ

ベトナム語講座を受講して

外国語学習G (ベトナム語講座) 深水 智明

RKKでベトナム語講座が始まって、この9月で満3年になりました。Phung Thi Xuan Huong 先生(以下、先生)をはじめ、メンバー皆様には多くを教えていただき、感謝申し上げます。

さて、開講にあたり先生から、言葉の勉強と共に“ベトナムの暮しや文化の紹介を行います。”と伺いました。私はこれまでベトナム留学生7人と支援・交流して参りまして、“ベトナム”を知ることが相互理解をより容易くするであろうと、先生のお考えに関心を持ち、講座に参加しました。本講座の状況については、メンバーの多くの方々がRKKニュースを通じて、ベトナム語の難しさ、先生の分かりやすい教え方の工夫など数々の感想を述べられています。私も同感しております。ベトナム語は日本語とは全く異なり、教えるには大変ご苦労かと思えます。

ベトナム語の難しさを一言では説明できませんが、私から見れば、同じような単語でも発音(声調)の違いで、意味が全く異なる単語が多数あります。発音の重要さが日本語とは段違いです。また、会話などなるべく具体的に示す、人の名前を言う、年齢に応じてきめ細かな人称の使い分け等日本語との違いを知りました。これらは日本語の“察する”、“曖昧さ”の習慣とは大違いのようです。また、東アジア国でもラテン文字ベースであり、発音記号付きの文字など多くの特徴があります。言葉は文化そのものと言われますが、ベトナムの歴史上、漢越語や年長者配慮の言葉など中国や儒教の影響や近代ではフランスの影響もあり、日本とは比較にならない多様な影響を受けた言語であろうかと推察する次第です。

一方、言葉学習では、音声や画像を駆使し、オンラインの機能を十分に活かして、分かりやすい教材を準備にされ、高齢の身には見やすくありがたいことです。また、文化紹介では、画面を活用して、ベトナムの街の風物、料



理、観光地などを紹介され、特に美味しい食べ物の話では、ベトナム語の難しさを忘れてその画面に見入っています。これからのベトナム留学生との交流に大いに役に立つことでしょう。

なお、“ベトナム フェスタ”（横浜／9月）（写真）を先生共々講座の皆さんで楽しみました。

カム オン モイ ソグ オイ ザット ニエウ

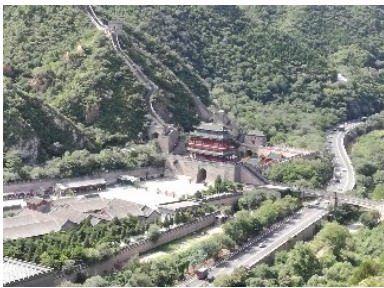
Cảm ơn mọi người rất nhiều.（皆さん、たいへんにありがとうございました。）

R K K 中国語講座

外国語学習 G（中国語講座）畔取 孝

R K K 中国講座を受講してから 10 年ほどになりますが、今年度からお休みをいただいています。そのため、中国語は受講していませんので、講座受講のことではなく、今の中国語に対する自分の姿勢、変化をお話したいと思えます。

もっぱら利用しているのは、NHK E テレの中国語講座（15 分番組）と BS 中国ドラマです。それらを録画して空いている時間に見ています。その番組を見ながら、当初勉強のためにと、一生懸命に聞き取りの練習をしようと思っていました。中国ドラマでは、中国の諺の「噂をすれば影」「光陰矢のごとし」や、「春暁」の詞が俳優さんの口から出てくると、思わず“知っている！知っている！”と授業で習ったことばを聞き取れる感動を味わっていました。



ところが、しばらく経って好きな中国の歴史ドラマ「始皇帝 天下統一」などを見始めると、皇帝、大王、皇后、将軍、万歳万歳万々歳、突撃！などの言葉が記憶に残るようになりました。それに慣れてくると今度は、画面の下の日本語訳を一生懸命読んでいた自分がいました。

たった半年で中国語に対する姿勢が変わってしまったのです。つまり、「老人さらに老いて学なり難し」、「忘れること矢の如し」といった状況です。また中国語講座に復帰ができるのか、悩ましいところです。

* 写真は北京近郊長城の一部「居庸関」です。

地区からの便り

北地区からのたより

北地区 松井 直子



北地区では、2024 年度第 1 回の交流会を 7 月 28 日（日）旭区の活動センター「みなくる」で開催致しました。とても暑い日でしたが、他地区の方も含めて 9 名の方がご参加くださいました。新体制のもとでの活動指針や重点目標、役員体制、そして創立 25 周年記念事業「留学生 50 人の声」など話題は盛りだくさんでした。北地区では会員数減少という大きな課題を抱える中で他地区との交流を考えています。その日もその話でかなり盛り上がりました。なんとかしなくてはという気持ちの一方、どうにもできないという気持ちもあります。とりあえず、地区を超えての交流の一步として外にでかけてみるのもよいのでは

と思えました。そして候補にあがったのは横浜最大級の大花壇、旭区の里山ガーデンです。北地区の会員と留学生だけでなく広く他地区にも呼びかけて、美しいお花を愛でながら、楽しくお食事をし、歓談をするという事で秋の 1 日を楽しめたらと思います。もちろん新入会員の勧誘も含めて、今年はいろいろ try する年になりそうです。

新入正会員の皆さま：よろしくお祈いします！（敬称略）

町田 良雄（藤沢市）

中央地区からのたより

中央地区 畔取 孝

第2回中央地区交流会を9月22日(日)に開催しました。参加者3人に加え東地区から鈴木さんが参加していただきました。中央地区は会員数16人で、近況報告を毎回いただくようにしています。今回は14人の方から留学生との交流、マッチングの希望、崎陽軒の工場見学参加、会員・星さんの「星や」での留学生との会食、9月下旬の海外旅行(メキシコ)、日々の筋トレなどの健康に関することを含めた詳細な報告をもらいました。

当日の交流会前半では、村田さんが執筆している「日本で就職を目指す留学生のための日常日本語」の内容や、留学生との異文化交流(主にムスリム)について説明を受けながら話し合いをしました。中近東の話では、現役時代に勤務された方の話しも聞きながら歴史、地理的な出来事をうかがい知ることができました。

後半では、交流会参加者を増やす方法、他地区との交流について意見交換をしました。参加者を増やすためには、留学生との交流・支援の報告だけでなく、楽しい話題、みんなが興味をもつようなテーマが必要であることが挙げられました。また県民センターを利用している東地区との交流を行うことについても賛同の声が出ました。そのため、次回は東地区と中央地区とでお互い持っているテーマ(異文化交流、キャリアカウンセリングなど)を皆さんに紹介しながら、話し合いの交流を図ること検討したいと考えています。イメージとしては、「前半は各地区での交流会、後半は合同の交流会、そして最後は懇親会(参加自由)」といった流れを想定しています。今後は、日時、内容などのプログラムについて東地区スタッフさんと具体的に打ち合わせをしていき、開催ができるように進めたいと考えています。

地区交流会における留学生との語り合い

湘南地区 坪井 弘喜、深水 智明

このたび、留学生と個別の交流とは別に、小人数(今回は9人)で語り合うことも留学生との交流を広め、深める一助になろうかと湘南地区では初めて留学生と対面の語り合う会を開催しました。ベトナム出身レバン チュン(Le Van Chung)さん(横浜国立大学大学院生)が忙しい中に参加してくれました。交流会では、留学生本人(以下、彼)の自己紹介を初め、日本留学の思いを披露してもらい、感想や質問を通してコミュニケーションができました。

まずは彼の故郷を地図、写真を見ながら紹介してもらいました。故郷は“タインホア市”(写真)で、きれいな街並みでした。ベトナムと日本との社会、地理や気候の違い(ベトナムは日本よりもっと蒸し暑いそうです。)等々、私共には珍しい話がありました。



〔タインホア市の街並み〕

次いで日本留学について、日本留学の目的、研究概要、留学の感想、今後の抱負などを語ってもらいました。彼は、現在、会計学を研究中ですが、日本留学の理由は、学問の水準が高い、同じ東アジアで馴染みやすい文化国であり、治安もよく安心して暮らせること等が挙げられました。ベトナムと日本との関係などの話にも及びました。また、昨今の大学内の留学生の動向なども触れてもらいました。彼は卒業後、日本で活躍しますが、将来は日本の経験を活かしてベトナムで活躍を望んでいるとのこと。彼からのベトナムお土産の美味しいお菓子をいただきながら、和やかな語り合いでした。

後日談ですが、彼によれば、留学生にもっと日本語を支援いただき、そしてこのような留学生との交流会を開いてほしい、できればもう一人留学生が同席すれば語り合いがさらに濃くなるであろう、との感想が寄せられました。

地区交流会としても、懇談会のみならず、近隣の散策、催しへの参加などで会員が留学生と和やかに語り合える機会をつくり、互に近しい交流ができれば、RKKの本来の活動目的に資するものと期待されます。

委員会情報

Gmail の紹介

ICT 推進委員会 永作 重夫

会員間のやり取りを含め、多くのメールを活用されていると思います。RKK への登録は、一つで十分かもしれませんが、プライベート用などで複数のメールを活用されている方が多いと思います。私も基本は、Outlook を利用していますが、娘に薦められて Gmail も合わせて利用しています。どちらかといえば Gmailの方が活用しやすいと思いますので、今回は、Gmail に関して紹介をしたいと思います。

1. COPILOT (生成 AI) による複数のメールアドレスのメリットとデメリットは以下のようです。

メリット

- 1) プライバシーの保護: : 仕事用、プライベート用と分けすることで、プライバシーを保護できます。
- 2) 整理整頓: : 受け取りメールを用途別のわけることにより、メールの管理がしやすくなる。

デメリット

- 1) 管理の手間: 複数のアカウントを管理するのは、手間がかかる。パスワードの管理も複雑となる。
 - 2) 誤送信のリスク: : 仕事用のメールをプライベートのメールから送信するなど、誤送信のリスクが発生する。
- メリット、デメリットはありますが、メリットの方が大きいかと理解しています。

2. Gmail に関して

Youtube などで、多くの情報が提示されていますが、以下のアイテムが特に気に入っています。

- 1) 無料で 15GB までは利用可能。(大概のメールは保存できます。)(有料なればさらに容量拡大可能)
- 2) マルチデバイスに対応 (スマホ、パソコン、タブレットなどで同じ情報を確認できる。)
- 3) メールをスマートに検索できるラベル機能がある。(フォルダー機能より便利)
- 4) 迷惑メールフィルター機能がある。(迷惑メールを除外してくれる。)
- 5) SSL 通信だから、安全、安心

特に、2)の機能にて、スマホとパソコンで同じ情報を踏まえて対応可能ですし、3)のラベル機能でメールの整理が極めて楽だと思います。4)の機能で迷惑メールが大半除外されているのはうれしいかぎりです。

皆さん、Gmail を利用されていない方は、一度使用してみたいはいかがでしょうか。

以下に Gmail 学習用の推奨の Youtube の URL を記載します。

Gmail のメリット <https://www.youtube.com/watch?v=xZOQLGkAMnQ>

Gmail の使い方 https://www.youtube.com/watch?v=kELfc_BkpaQ

Gmail の使い方 <https://www.youtube.com/watch?v=7aI427cTG7w>

トピックス

横浜国大工科系大学院留学生卒業式に参加



9月13日に開催された横浜国大大学院都市イノベーション学府主催の学位記授与式に参加しました。

総勢 24 名の留学生が博士号を取得し卒業式に出席していました。ラオスからの留学生 Vilaivong Anousit さんとは 2021 年 11 月より主に zoom を使って隔週、交流をしていました。彼は又、お花見、七夕祭り、文化祭にも積極的に参加し日本文化、風俗、習慣等の習得に努めました。帰国後は母国発展のために貢献してくれることと期待しています。

文化・ファミリー交流 G 徳屋 英生

よこはま夢ファンドのご案内



横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした“よこはま夢ファンド”という制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じて R K K の活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/gaiyou.html>



留学生との交流～秋を彩る里山の大花壇で～

10月6日北地区主催の横浜市旭区の「里山ガーデン」のOutingを会員8人(含ご家族の方)、留学生3人が集まり実施しました。朝は小雨が降っていましたが、目的地に着く頃は、雨がやみ、暑くもなく、寒くもなく、野外のウォーキングには最適な日になりました。入園すると目の前に広がる大花壇は前日の雨が幸いしてか、潤いがあり、秋の花々が見事に咲いておりました。園芸デザイナーの三上真史さんおすすめの里山ガーデン花さがしのプリントを元に自分の好きなお花を見つけていきました。その後園内のピクニック広場でシートを敷き、それぞれが持ち寄ったお弁当を頂きながら、ご自身の趣味や、里山ガーデンの感想、好きな花の紹介をしたりして、交流会を持ちました。留学生とお花談義ができる貴重な機会となりました。



インドネシアの留学生がコリウスはげがをしたときや熱を出したときの薬になるという話をしておりました。山口百恵の「秋桜」の曲にしばし聞き入り、美しい花々に包まれた日本の秋を楽しみました。番外編のZOORASIAの見学は穏やかな天気のおかげ動きのある動物の姿を見ることができ、これまた感動的でした。

北地区 松井 直子

おもな活動 (2024/8 から 2024/10 まで)

スタッフミーティング

- ◇9/23に2024年度第2回スタッフミーティングを開催。新任スタッフも含め15人のスタッフが参加。2024年度重点活動目標を踏まえてC&C(報告、連絡、相談)を実施。
- RKK25周年記念事業「留学生50人の声」プロジェクトの推進中間報告。11月23日開催予定のRKKフェスティバル(日本語スピーチ大会、文化祭)の計画説明。地区交流会スタッフ懇談会も実施。

活動グループ

- ◇日本語支援G:日本語スピーチ大会の発表者募集活動。
- ◇文化・ファミリー交流G:9/2横国大IMPオンライン研究発表会に参加。
文化祭の展示品、Workshopの概要検討と留学生による母国紹介の発表者募集。
- ◇外国語学習G:中国語講座(9人受講)はZoomによるクラスに加え9/21に対面クラスと食事会を実施。
ベトナム語講座(9人受講)がZoomで実施。9/2に対面クラスとベトナムフェスタに参加。
- ◇社会見学G:9/19第81回見学会で水道記念館、寒川神社流鏝馬を見学。留学生5人を含め20人が参加。

地区交流会

- ◇東地区:9/8にサポートセンターで対面式の交流会を実施。他地区会員を含め9人が参加。
- ◇西地区:7/21にフレンズ戸塚で交流会を実施。他地区会員も含め19人が参加。恒例の懇親会を実施。
- ◇南地区:9/8に4人が参加して対面式で交流会を実施。
- ◇北地区:7/28に対面式交流会を実施し9人が参加。10/6里山ガーデン散策には留学生3人を含め11人参加。
- ◇中央地区:9/22にサポートセンターで対面式の交流会を実施。他地区スタッフを含め4人が参加。
- ◇湘南地区:9/22に藤沢市民活動支援センターで対面式交流会を実施。新入会員も含め9人が参加。
10/27に藤沢国際フェスティバル、11/24に平塚市民活動センター祭に出展予定。

委員会

- ◇会員委員会:新規入会受付窓口、会員名簿更新管理、マッチングの推進。
- ◇広報委員会:RKKニュース97号の編集。PR用カラーリーフレットの配架推進。RKK HP,Websiteの更新。
- ◇キャリア支援委員会:会員からの個別の要望案件への対応。9/8、鶴見国際学生会館で留学生にPR。
- ◇企画委員会:25周年記念プロジェクトの助成先との窓口業務。
- ◇会計委員会:NPO事業報告の作成と申請。役員変更届け。登記申請。会計処理および決算報告。
- ◇ICT推進委員会:G-mailの活用方法の検討。グループメールの活用推進。
- ◇事務室:会議室予約管理。会計処理の承認。スタッフミーティングの運営。

RKK フェスティバルを楽しもう

芸術の秋を迎え、RKK フェスティバルを 11 月 23 日(祝日)に、かながわ県民センター R301 で開催します。留学生会員、日本人会員との貴重な文化交流の場であり、皆様ふるってご参加ください。午前中は、第 17 回日本語スピーチ大会が行われ各国からの留学生が発表します。留学生の視点を通して今まで気づかなかった日本を発見しましょう。午後は、第 11 回文化祭が開催されます。絵画、写真、書道、川柳など会員の力作を展示します。書道、似顔絵、伝統遊戯、外国語学習などのワークショップを予定しています。留学生による母国紹介では各国の伝統、文化、現状などを紹介してもらいます。皆様の作品出展、各ワークショップへの積極的な参加をお願いいたします。留学生をお誘いあわせの上全員参加で楽しいフェスティバルにしましょう。

RKK FESTIVAL

RKK will hold RKK Festival on 23rd Nov. (Holiday) at Kanagawa Kenmin Center. The Japanese Speech Convention by international students will be held in the morning at Room 301. The Culture Exchange will be held 12:30-16:30 at Room301, consisting of the following themes:

- A) Exhibition of painting, photo, calligraphy, senryu (humorous poem), etc.
- B) Workshop of traditional Japanese culture like Calligraphy, children's old game, introduction of foreign languages etc.
- C) Introduction of their home countries by international students

We welcome your application of photos, painting, etc., and your home country introduction. Let's enjoy the Japanese Culture Festival together.

For viewing the leaflet on PC, please visit the URL: http://rkk.world.coocan.jp/pdf/RKK_Cultural_Festival_2024.pdf

留学生の皆さんへ / To International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation) ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting/ Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@yahoo.ne.jp

Website : <https://sites.google.com/view/newrkk/>

正会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKK では下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・ 日本語学習支援 (留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします。)
- ・ 文化・ファミリー交流 (フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます。)
- ・ 社会見学 (公共施設・工場見学、名所巡りなどを行っています。)
- ・ 外国語学習 (留学生が先生となって中国語・ベトナム語を勉強します。)

RKK の活動に興味をお持ちの方は RKK のホームページをご覧ください。入会申込書はホームページ「入会案内」から入手できます。

NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ウェブサイトのご案内

PC の場合には [nporkk](http://nporkk.com) で検索、または <http://rkk.world.coocan.jp/> をクリック、

スマホの場合には <https://sites.google.com/view/newrkk/> をクリック、または QR コードをご利用ください。



Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 2024 年秋号担当 村田 威雄 Oct.22,2024